

# 令和6年度実施協働事業の評価結果報告

令和7年度第1回国分寺市協働事業審査会において、令和6年度に実施した協働事業（6事業）を評価をいたしました。

日 時：令和7年6月11日（水）午前10時から午後3時10分まで

場 所：アクティ・ココブンジ

## 1 【評価対象事業】

協働事業名称	実施団体	担当課	実績額 (市負担額)
<b>①提案型協働事業</b> こくぶんじエリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」（自慢できる源流のまちへ）開講事業	特定非営利活動法人まちづくりサポート国分寺	緑と公園課	948,260円
<b>②提案型協働事業</b> 集団が苦手な子どもたちと保護者や家族のための支援事業	特定非営利活動法人ワーカーズ風ぐるま	子育て相談室	519,348円
<b>③公募型協働事業</b> こくぶんじ青空ひろば事業	認定特定非営利活動法人冒険遊び場の会	子ども子育て支援課	9,469,976円
<b>④公募型協働事業</b> 国分寺市親子ひろば事業	特定非営利活動法人コアラッコ子育てサポート	子育て相談室	2,541,310円
<b>⑤公募型協働事業</b> 国分寺市職員NPO派遣研修事業	国分寺・協働を進めるNPO連絡会 (構成団体:認定NPO法人冒険遊び場の会／NPO法人まちづくりサポート国分寺／NPO法人コアラッコ子育てサポート 協力団体:美しい用水の会／ゆいぼっこ～地域につなげるサポートー'S～)	協働コミュニティ課	341,000円
<b>⑥公募型協働事業</b> こくぶんじカレッジ協働事業	特定非営利活動法人マルイス	まちづくり推進課	4,621,931円

## 2 【評価の手順】

- (1) 事業終了後（令和7年4月1日以降）実施報告書等を団体が担当課に提出
- (2) 事業費の精算
- (3) 実施団体と担当課それぞれが自己評価票を作成
- (4) 自己評価を基に、実施団体と担当課両者による相互評価票の作成
- (5) 協働事業審査会による評価
  - ①実施団体による事業報告（プレゼンテーション）
  - ②委員による質疑、団体及び担当課による回答
  - ③報告書、自己評価、相互評価、質疑応答を基にした委員による評価

## 3 【評価項目】

- (1) 事業の目的は達成できたか
- (2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか
- (3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか
- (4) 改善すべき点や今後の課題はあるか
- (5) 全体的な評価等

## 4 【評価結果】

別紙「審査会による評価」のとおり。

## 5 【国分寺市協働事業審査会委員】

(敬称略)

委員種別	氏名	職業など	出欠
1号委員	跡部 千慧	東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 社会学教室 助教	欠席
同上	山岸 絵美理	大月市立大月短期大学 経済科 准教授	欠席
同上	岡本 祥公子	認定特定非営利活動法人 サービスグラント 理事	出席
2号委員	村越 隆治	政策部長	出席
3号委員	宮本 学	総務部長	出席
4号委員	杉本 守啓	市民生活部長	出席
2項委員	大隈 亮	市民公募委員	欠席
同上	神田 淳	同上	欠席
同上	遠藤 威俊	同上	出席

# 令和6年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	【提案型】国分寺エリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」（自慢できる源流のまちへ）開講事業
実施団体	特定非営利活動法人 まちづくりサポート国分寺
担当課	緑と公園課
事業の成果に関する評価	
<b>(1) 事業の目的は達成できたか？</b>	
<p>スクールジュニアにおいては、昨年度と比較し、実施小学校は3校が4校に、参加児童数も316名から463名へと約1.5倍に増やしながらも円滑に実施できたことは高く評価できます。</p> <p>また、スクールシニアにおいても、幅広い層から58名が参加し、ボランティアガイドの登録者数も累計で129名となり、気運醸成につながっていると考え、一定程度の目的は達成できたと考えます。</p>	
<b>(2) 市が単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？</b>	
<p>スクールシニア、スクールジュニアともに、団体と担当課が役割を分担した上で、効率的・効果的な事業展開が図れたと評価します。</p> <p>一方で、気運醸成を「野川整備計画」の実現につなげていくためには、都への働きかけを実施団体と市の更なる連携により進めていくことが望されます。</p>	
<b>(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？</b>	
<p>スクールジュニアにおいては、昨年度に引き続き、授業参観日に発表の機会を持ったことに加え、「野川の歌」や「漫才」など、学校からの素晴らしいアイデアも出ました。他校にも是非、共有していただき、良質な成果及び波及効果につなげていくことを望みます。</p> <p>一方で、ボランティアガイドについては、これまで審査会において指摘してきた通り、具体的な活用をできていないことから、これまでと同様、現状では評価には至らないと考えます。</p>	
<b>(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？</b>	
<p>スクールジュニアにおいて、実施団体の構想にある市内全10校のうち、野川から距離のある学校における実施に当たっては、散策実施時の移動における安全の確保等について、他の行事を参考にしながら、担当課学校と協議を進めてください。</p> <p>スクールシニアについては、インターネットを活用して当日参加できない人向けに動画の配信や検定を行うなど、より多くの人に知っていただく機会を創出することを望みます。</p> <p>加えて、ボランティアガイドについては、本事業の拡充に向けて、長期的な視点を持った事業構築をしていくためにも活用方法を早急に検討する必要があります。</p>	
<b>全体的な評価等記述欄</b>	
<p>気運醸成を図り、都に示していくためには、昨年度も指摘した通り、定量的な目標を設定し、本事業の成果の分析を基に、目的達成への見える化をすることが重要です。このため、参加者アンケートにおいて気運醸成を定量的に計るなど、見える化に向けて改善する必要があります。</p>	

# 令和6年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	【提案型】集団が苦手な子どもたちと保護者や家族のための支援事業
実施団体	特定非営利活動法人 ワーカーズ風ぐるま
担当課	子育て相談室
事業の成果に関する評価	
<b>(1) 事業の目的は達成できたか？</b>	
<p>集団が苦手な子どもの居場所の提供において、回数を重ねるにつれて参加者が固定されてしまった部分はありますが、一人一人の特徴を理解しながら、自由に一人で過ごせる環境づくりができたことから、目的は一定程度達成できたと評価します。</p>	
<b>(2) 市が単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？</b>	
<p>団体が持っている専門性やネットワークを活かした事業展開ができておらず、市も広報を担ったり、公共施設を提供したりするなど、お互いが持っている特性を基に、効率的、効果的な事業展開ができたと評価します。</p>	
<b>(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？</b>	
<p>子どもの居場所「まいペーすクラブ」において、学生ボランティアが参加し、異世代交流につながったことは、良質な成果として評価します。</p> <p>一方で、ゆるいく講座については、参加者がいない回があるなど、成果が出なかった部分も見受けられました。</p>	
<b>(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？</b>	
<p>事業の対象者の特性上、量的な成果が求められない部分はありますが、幅広い方々の活用に向けて、広報や実施方法における課題を、事業実施の中で団体と市で協議しながら改善していく必要があったと考えます。</p>	
<b>全体的な評価等記述欄</b>	
<p>団体からの報告にあったように、より良質な成果とするためには、他団体等の先進的な取組を参考にするなど、学校や病院等との情報共有や連携、紙媒体以外での広報の検討する必要があったと考えます。本事業は、1年限りとなっていますが、本事業で出てきた課題を検証し、今後の団体及び市の事業に活かしていくことを期待します。</p>	

# 令和6年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	【公募型】こくぶんじ青空ひろば事業
実施団体	認定特定非営利活動法人 冒険遊び場の会
担当課	子ども子育て支援課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
一部では利用者数が減少していますが、精微に原因を分析しており、事業実施に反映できていることから、事業の目的は達成できています。	
(2) 市が単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
事業実施における団体と市の役割分担を明確化しながら、近隣住民への周知等は協力するなど、適切な事業運営により効果的、効率的な事業展開ができていると高く評価します。	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
P D C Aのサイクルで継続的に改善しながら事業を実施できています。 また、担当課との協働にとどまらず、緑と公園課やスポーツ振興課と公園の危険箇所等の安全管理に関する情報を共有するなど、公園の環境整備にも貢献しており、波及効果があつたと評価できます。 あわせて、児童館職員が事業に参加することで、事業内容の拡充が図れたことや、児童館職員と団体双方の情報を共有したりノウハウを学びあつたりするなど、児童館と団体双方の事業の質を高める相乗効果も出ています。	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
昨年度、審査会で指摘したサマータイムを導入したことは評価できます。小学生への周知方法など、昨年度の実施を踏まえて出た課題は、解決策をご検討ください。 また、男性の育児休暇の推進が図られている中、今後、本事業においても父親の参加を増やしていくことが望まれます。利用者アンケートにおいて父親からの意見はまだ少ないですが、より幅広い利用者からの意見を反映できる工夫を期待します。 長年課題となっている第八小学校エリアにおける青空ひろばが未実施になっていることについて、新たに放課後子どもプランで開催したことは評価します。今後も実施場所、方法について、市と連携を図りながら情報を収集し、本格実施に向けての検討を重ねてください。	
全体的な評価等記述欄	
相互評価等でも改善すべき点として挙げられていますが、父親の参加促進や障害者（児）、外国人、不登校の子どもも参加しやすい包括的な配慮がなされた事業展開が求められます。団体からの報告においては、実施報告書、発表資料及び発表内容とともに、これら事業拡充に向けた課題解決の要因分析が明確化されており、今後の方向性も提示されました。このことを高く評価するとともに協働事業として更なる成長、発展を期待します。	

## 令和6年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	【公募型】国分寺市親子ひろば事業
実施団体	特定非営利活動法人 コアラッコ子育てサポート
担当課	子育て相談室
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>親子ひろばの対象である、乳幼児及びその保護者並びに妊婦のそれぞれに対応した事業内容を円滑に実施していることから、事業の目的は達成できていると評価します。</p>	
(2) 市が単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>予定していた実施場所の受入可能な参加者数を超える申込みに対して、実施場所の変更等において市と連携し、柔軟な受入体制を整えることができたと考えます。</p> <p>また、広報においても、団体がSNSやチラシ、市が市報等、双方の強みを生かした情報発信ができていることから、効果的、効率的な事業展開ができたと高く評価します。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>関係機関だけでなく、市民活動団体や子育てに関する専門家と連携した事業を展開したことは、団体の工夫による良質な成果です。特に、育児に関する相談に対応するだけでなく、産前産後休暇、育児休業後の利用者のキャリア相談など、利用者の幅広いニーズを汲み取つて新たな事業を展開していることを高く評価するとともに、更なる内容の拡充を望みます。</p> <p>加えて、様々な機関、団体、地域の方々、元参加者（ねこのてクラブ）等との連携が、本事業にとどまらない波及効果・相乗効果となることを期待します。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>利用者アンケートは、事業における課題を抽出し、改善、拡充していくための重要な役割を果たすと考えます。利用者アンケートの回答数が年々減少していることから、より幅広く利用者からの意見を把握し、反映できる取組を実施し、改善することを求めます。</p> <p>また、男性の育児休暇の推進が図られている中、今後父親の参加は増加していくと思われます。男性がより参加しやすいよう、更に検討することを期待します。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>団体におけるオンラインの活用は、先進事例として協働事業における他団体の参考となるものと高く評価します。</p> <p>なかでも、「オンラインひろば」は、対面で相談できない方々にもアプローチできる重要な取組であると考えます。また、市民室内プールで実施する親子ひろばを知るきっかけとなり、親子ひろばへの参加を躊躇する人の参加への動機づけとなることから、実施回数は縮小しましたが、質的な拡充を求めます。</p> <p>加えて、公式LINEアカウントの利用ニーズは高いと想定されます。団体が示した費用面の課題については市と協議し、今後の協働事業において更なる活用を期待します。</p>	

# 令和6年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	【公募型】国分寺市職員NPO派遣研修事業
実施団体	国分寺・協働を進めるNPO連絡会
担当課	協働コミュニティ課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>三部制（オリエンテーション、現場実習、報告会）で事業を実施したことにより、市職員が協働について体系的に学び、理解が深まっていることが、効果測定の結果にも表れており、事業の目的は達成できたと評価します。</p>	
(2) 市が単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>市職員の研修を協働により実施することは、あまり事例がない良い取組と考えます。また、団体、市双方の異なる考え方を共通理解としてまとめながら実施していることから、効果的な事業展開ができたと評価します。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>本事業は市職員を対象とした研修ではありますが、参加したNPO団体においても、市職員と交流したりや意見を交換したりする中で協働について学ぶ機会となっています。このことは、協働推進に向けた波及効果、相乗効果につながっていると考えられ、一定の成果を得られたと評価します。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>本事業における研修生は毎年15名程度であることから、本事業の実施だけでは市全体で協働を進めていくには、かなりの時間を要すると考えます。本事業を起点として、研修を受けていない市職員にも波及効果のある取組をする必要があります。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>昨年度と同様、研修実施前の効果測定において、市職員の協働に対する理解度がかなり低いと感じます。市においては、新任研修や係長研修を行っているとの報告がありましたが、職層別に継続した研修を実施することを望みます。</p>	
<p>また、NPO団体側においても、協働推進に向けた意識醸成の取組や新たな団体の発掘が必要であると考えます。</p>	
<p>今後も協働の実施につなげていくため、長期的な視点をもって、様々な団体と連携しながら、協働に取り組んでいくことに期待します。</p>	

# 令和6年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	【公募型】こくぶんじカレッジ協働事業
実施団体	特定非営利活動法人 マリス
担当課	まちづくり推進課
事業の成果に関する評価	
<b>(1) 事業の目的は達成できたか？</b>	
<p>利便性が高い会場やオンラインによる参加者募集の説明会を開催するなど、幅広い層に広報したことが、募集定員に達する参加の応募につながりました。また、講座の欠席者に対しては、きめ細かいフォローワーク体制を組むなど、綿密な事前準備による円滑な運営の結果、8つのプロジェクトが生まれていることから事業の目的は達成できたと考えます。</p>	
<b>(2) 市が単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？</b>	
<p>団体が運営するSNS等の活用により、受講生募集を始め、受講生、修了生のつながりづくりに大きな力を発揮しました。市においても、庁内連携により、より多くの市民に事業を周知するため、発表会の場の確保や市報等による広報など、双方の強みを生かした、効果的・効率的な事業展開ができていると評価します。</p>	
<b>(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？</b>	
<p>これまで6年間培ってきたノウハウを生かすとともに本事業の運営に修了生が加わることで、事業の拡充につなげたことは、市民主体のまちづくり推進の視点からも高く評価します。引き続き、運営体制の自走化を含め、ブラッシュアップを図っていくことを期待します。</p> <p>また、受講者のチームプロジェクトの発表の場である「こくぶんじスパイク」が、市民が多数参加する「ぶんぶんウォーク」の中で国分寺駅北口駅前広場において実施されたことは、市民へのPRの場となるだけでなく、受講生のモチベーションを上げる取組であることから、良質な成果につながっていると評価します。</p>	
<b>(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？</b>	
<p>上記にある通り、修了生が運営に加わることについて評価しましたが、一方で運営に関わる修了生が、自身の活動を継続している場合も想定されます。このことを踏まえ、修了生に係る人件費について疑義が生じないよう、協働事業の運営に必要な予算と切り分け、予算を適切に管理してください。</p>	
<b>全体的な評価等記述欄</b>	
<p>実施報告は連続講座のカリキュラムに係る報告が中心となっており、事業規模に対する成果として費用対効果が見えにくいと感じます。昨年度も審査会で指摘した通り、費用対効果の重要な要素は、修了生のその後の活動が最終的な受益者である市民に対してどのように還元されているかであることから、次年度の報告においては、費用対成果が見えやすくなるよう、報告の構成を改善する必要があります。</p> <p>また、本事業は行政の幅広い分野を横断しているため、現時点では協働していない部署や機関と、今後つながりを持つことを期待します。</p>	